

No.40 2003年(平成15年) 3月10日



すたが

荻田町青少年育成町民会議だより



▲白川小学校にて



◀与原小学校にて

1月11日(土)
総合体育館で
行われたカルタ
大会の様子です。



▲真剣にカルタを
見つめる子ども達

まず、

あいさつから始めよう。

できることから、大人から。

大人が変われば、
子どもも変わる。

オアシス運動 人形劇公演

(家庭部会)

今回は小学生を対象に、各小学校の「おはなし会」の皆さんによる人形劇公演をすることができました。

○子どもの感想

● オアシスを教えてくれる時モンキチ君があとから「ほく知らない」とか言っていたからおもしろかった。
3びきのごぶたもおもしろかったです。またみたいです。ありがとうございます。

◀ 荊田小学校にて



○三匹のごぶた

● 二匹のごぶたが生き返ってほしかった。
● 歌が楽しかった。
● 人形がかわいかった。

◀ 馬場小学校にて

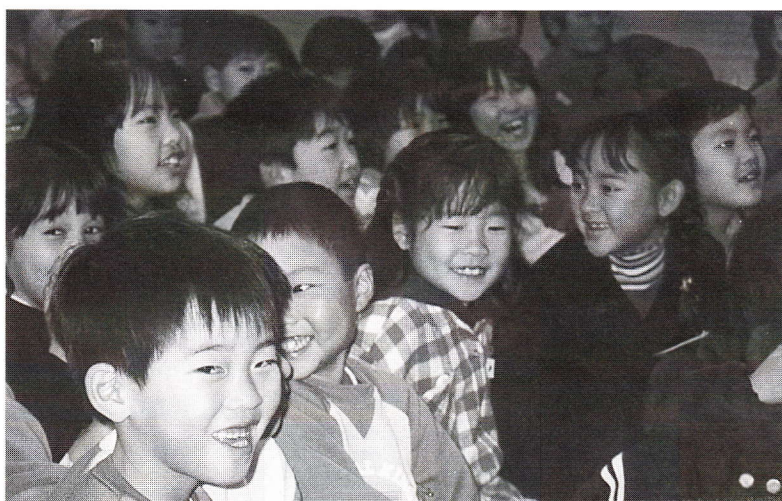


○子どもの感想

● (全体的に)楽しかった。
● 人形劇がおもしろかった。ポンちゃんの赤ちゃんがかわいかった。
● オアシス運動の説明がおもしろかった。

▶ 片島小学校にて

◎ 今回オアシス運動に関わらせてもらい、ことばは《人を思いやる心》《感謝する心》から自然と生まれてくるものであるという事を、改めて意識する良いきっかけとなりました。今後も、日々の活動の中で、そのことを意識しながら子ども達と接していきたいです。



家庭シンポジウム開催

昨年のシンポジウムでは、「完全週五日制」が実施される前の想い（例えば家族とのふれあいをどのようにするか。だからだしらない生活を送りたい等）の発表であり、今年は、その「完全週五日制」が実施され、実際にどのように過ごしているかとの発表でした。

週五日制が実施され七ヶ月が過ぎ、子ども達はそれぞれの想いを胸に臨んだ休みですが、ゆとりを持って過ごせるようになったという良い反面、休みには何もすることなく、又、両親が勤めでない家庭の子ども達の中には一人で寂しく過ごさなければならぬ等の悪い面もあり、その中で戸惑いながらも、こんな過ごし方ではいけないのではないかと、いかに有意義に過ごそうか、どのようにして親子でふれあいを楽しめばいいのだろうか、子どもなりに考え、実行している姿を述べていました。



平成14年11月17日(日)

- 主に家庭の教育力を高めるための学習活動
 - 家庭が担うべき子どもの基本的生活習慣の確立
 - 家庭のふれあいのあり方について継続的に学習する事
- というものでありました。家庭はすべての教育の出発点であり、家庭のぬくもりが希薄化している昨今、保護者は意識して子ども達と向き合うこと、関心を持つことが必要ではないかと発表されたのですが、自分もまたそう感じています。
- しかし、実際、共働きの家庭が多く、土曜日が休みではない職場も少なくありません。又、核家族が多く、家庭のライフスタイルも変化してきている今、家庭や学校だけでなく、地域や社会が一つになって色々な活動を通じ、多くの人と出会い、そ

白庭神社どんと焼き



2月12日(水)に白庭神社どんと焼きにて、今年も補導環境部会が特別補導を行いました。たくさん子ども達が楽しんでいましたようです。

◀補導環境部会のみなさん

の人間関係の中で家族に対する感謝、他人に対する思いやりが学べるような、人と人とのつながりの大切さを学べる場、子ども達が明るく成長できる場を提

供しなくてはならないのです。私は今、我々大人の果たすべき役割の大切さをかみ締めています。



オアシス作品入選作品 (前号の続き)

銀賞

あいさつ

与原小3年 川口 嵩文

ぼくが、知っているあいさつは、全部で十三こです。その十三この中で、気もちよく言えるのは、おはよう、こんにちは、こんばんは、おやすみなさい、さようなら、ただいま、おかえり、いただきます、ごちそうさま、ありがとう、おじゃまします、おじゃましましたの十二この言葉です。十三こ目のごめんなさいは、すなおにいえるときと、なかなかいいたくてもいえないときがあるんです。

わざとじゃないけど、人の目に、ゆびがはいったりして、僕があやまつたら、許してくれたよ。ぼくはうれしかったよ。それでけんかをしたときはちよつといいにくいで、あやまらなかったときも、あつたけどあとで、あやまつたらゆるしてくれたよ。だからすぐに、ごめんなさいが、言えたときは、自分でも、心が温かくなれました。

でもあまり、ごめんなさいが、なかなか言えなかったときもあります。それは、友だちと、口げんかをしたとき、もうゆえなかつたんで、友だちを、けつてしまつて友だちがないて、なかなか言えなかったときがありました。

だけどぼくは、ほんとうは、あやまりたかつたです。これからぼくは、すぐあやまる人が心がつよいでいい人と思います。

銅賞

わたしの家族

刈田小5年 原田 美香

わたしの家には、弟のこう太君、お母さん、お父さん、そしてわたしがいます。

いつも家には、だれもいないけど帰つてくるとお母さんがいたりします。

わたしは、お母さんが大好きです。

いつもやさしくて、思いやりがあつて、たまにおこるけど大好きです。

きつとお母さんは、わたしたちにいいことわるいことを教えてくれます。こまつたことよかつたことを話していつも、

「ああすればよかったね。」

「がんばりなさい」

とアドバイスしてくれます。そうやって分かりやすく、せいかくに教えてくれます。だから、次こうすればいいのか、そうゆうふうによればいいのかを教えてくださいのことがお母さんです。お母さんが、仕事の時にお昼は、わたしが弟のめんどろをみます。お母さんが「もうしわけがない」といつているけど、わたしは、お母さんのことと、身のまわりにあることを、いつも、がんばっています。だからいつも教えてくれるお母さんに「ありがとう」と心から、感謝したいです。あと、こう太君やお父さんも宿題

の手助けやお手伝いをしてくれます。だからわたしが家族に支えられながら、がんばっていきます。だから、家族のお母さん、お父さん、こう太君に心からありがとうの気持ちをこめておくりものをします。やさしいお母さんやお父さん、こう太君とわたしの力で苦しいこと、楽しいこと、いつでものりきつ

ていけるような力をもらつてわたしは、そのおれいにありますが、その気持ちをあげたいです。いつか、その気持ちがみんなに伝わると思います。

わたしは、今、とても幸せです。そして、いつか、幸せがみんなに伝わると思います。

俳句を楽しむ子ども達

馬場小学校より

「あすなる会」(会員:18名)の皆さんが、昼休みを利用して各小・中学校の子ども達に俳句を指導して下さっております。

今回は馬場小学校児童の俳句を紹介します。

学期末テスト多き季節かな
毎日がテストどさんまい学期末
外ながめ雪つもらんかと願う日々
持久走さむいと思えば雪がふる
このきせつあつぎをしてもさむいなあ
じきゆう走最後の最後いい結果
学校で雪がちらちらふつてきた
風ふいて雪がちらちらもう冬か
持久走雪のふる中走れたか
寒い中マラソン大会いき「ハアハア」
窓の外ふとながめれば雪景色
持久走苦しまぎれに白い息
しもおりてカエルうらやまし冬の朝
小学生雪がふるなり喜びが
持久走ががんばる姿目に入る
冬空に一番目立つオリオン座
持久走雨ふらないかとみなねがう
息白くゴールが恋しい持久走

中村まさみ
川原 萌
鳴見 美幸
中村たくま
大神さやか
安田 顕秀
荒鬼 祐介
篠田 貴文
牧ノ段 篤
高井 寿紀
中野 美奈
すすきなつみ
進 知仁
小柳 美希
岡 志保味
平野 昌子
守 綾香
松田 成史

荻田サッカー スポーツ少年団



昭和44年（1969）荻田町スポーツ少年団（サッカークラブ）が学校・企業・学生の愛好者が中心に成って青少年の育成の為に設立されました。

実技の向上を直接の目的とし、サッカーを通して健全な体力作り、強い意志と集団生活にふさわしい責任・公正・連帯などの民主的精神を養うことを目標に週一回の練習からスタートしました。

以後、困難に立ち向かいながらも、町内から町外の大会へと活動の場を広げてまいりました。

特に1981年より現監督に引き継がれてからは、

一皮むけた新サッカー少年団に生まれ変わり、今日まで数々の成績と多くの団員を社会に送り出しました。今後、もともと上手になりたいたいと思う向上心や辛抱する気持ちを引き出し、スポーツの喜怒哀楽を共に味わい、たくましい子供達に育てていきたいと思っています。

最後に本少年団を卒団し、

現在J1リーグのセレッソ

大阪のFW、U-21日本代表

として活躍中の大久保選手

へのご声援をよろしくお

願いいたします。

目指せ全日本だ
世界にはばたけ



頑張れ！大久保



◆新年度に向け

団員募集中!!

○スタッフ

辛島監督 他四名

○練習場

馬場小下多目的グラウンド

○練習日

週五回

詳しくは一度グラウンドの練習を見学し指導者にお聞き下さい。

編集後記

春の季節 子供達は入学に進学にと色々夢はずませている事でしょう。

今は、いい学校・いい会社に入っても、自分がしつかりしていないと生きていけない時代です。子供達は大人を見ているから、大人が変わらなければいけないのです。

親はすぐに結果を求めますが、子供が成人に達するまでは失敗を恐れず、多くの経験をさせてほしい、もっと我々大人達が大きな気持ちを持って長いスタンスで子供の幸せを考えて欲しいと思います。未来に向かって行く青少年に少しでも「すこやか」の誌面を通してお役に立つ事ができれば、編集員一同の喜びであり、更に頑張りたいと思います。又、町内の皆さんの投稿をお待ちしております。

委員長 千原 勲
委員 浜田いさ子
永岡 重子
田畑 弘志
山田 隆
山本 節子

編集・発行

荻田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会

☎093・434・1111

(内線 390)